

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

第11回川崎市聴覚障害者情報文化センターまつり (以下センターまつり) 報告

5月27日(日)10時～15時、第11回目となるセンターまつりを開催しました。今年は過去最高となる673名(昨年度比194人増)の方々にご来場いただきました。足をお運びいただきました皆さまに心からお礼申し上げます。

このセンターまつりは、市内で唯一の聴覚障害者施設、市内で唯一の手話通訳者・要約筆記者派遣事業所である当センターの存在を一般市民の皆さまに知っていただくことを目的として開催しています。今年は初の試みとして、チラシ・ポスターのデザインやカラー印刷を専門業者に依頼し、さらに市内の公的施設にポスターを掲示するなどしてPRの強化に努めました。

また、毎年、講師が見えなくなるほど参加者が会場を埋め尽くしていたため、特別講演会の会場を当センターの正面にある川崎市国際交流センターに移しました。講演会は「多様性を認める社会を目指して 聴覚障害議員の活躍～議員活動における情報保障や制約を取り除くためのアプローチなど～」とい

うテーマで、東京都北区議会議員 斉藤りえ氏、埼玉県戸田市議会議員 佐藤太信氏を講師に迎えて行いました。講師が聴覚障害議員、それも2名ということもあり、250人程度収容できる態勢をとったものの、開始時刻前には定員を超過し、数十人の入場をお断りしてしまうほどの大盛況ぶりに職員一同嬉しい悲鳴をあげました。

他にも、補聴器相談、弁護士相談、医療相談・情報提供コーナー、聴覚障害者福祉機器展、センター事業・協力団体の展示コーナー、手話・要約筆記体験コーナー、手話ダンス、作品展、災害対策コーナー、バザー、聴覚障害関係の書籍販売、模擬店、デフ・パペットシアター・ひとみのパフォーマンスという盛りだくさんの企画があり、まつりは盛大に終了しました。このセンターまつりは、当事者団体や手話サークルをはじめとした多方面の皆さまのご協力あってこそ開催できるものです。

ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



まつり受付



特別講演会での斉藤りえ氏



特別講演会での佐藤太信氏



聴覚障害者福祉機器展



要約筆記体験コーナー



作品展

来年のセンターまつりは、平成31年5月26日(日)開催の予定です。こんなことをやってほしい、このようなPR方法はどうか、など何でも結構ですので、ご意見がございましたらいつでも当センターまでご連絡いただければと思います。来年も皆さまのお越しをお待ちしております。

● 全日本聴覚障害者情報提供施設協議会大会・総会報告 ●

6月14日(木)～6月15日(金)に福島県にて全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び全国聴覚障害者情報提供施設大会が行われました。

<総会>

- ①2017年度事業報告・決算、2018年度事業計画・予算などについて審議され、満場一致で承認されました。
- ②都道府県レベルでの情報提供施設が設置されていないところは、北海道・鳥取(県独自の施設あり)の2箇所となりました。

<大会>

国立大学法人筑波技術大学産業技術学部産業情報学科の井上正之氏による講演「情報提供施設におけるICTを活用した聴覚障害者への情報提供」があり、それを受けてのシンポジウムがありました。

聴覚障害者情報提供施設の機能強化として、電話リレーサービスを実施するための厚生労働省の予算(2018年度)が約1,150万円から約8,980万円と大幅に増加しています。それに合わせて、電話リレーサービスを担う聴覚障害者情報提供施設の数が増える方向で準備している関係もあり、前回と同様に、電話リレーサービスに関する話題が中心となった大会でした。

厚生労働省が電話リレーサービスを実施するための予算を大幅に増加したことで、電話リレーサービスに対するニーズが益々増えていくものと思われます。そのことにより、聴覚障害者に対する支援のツールが広がり、現在の当センターの職員体制では対応しきれなくなることが予測されます。

今後も、国の動向に注視しながら、当センターの職員体制について川崎市と協議を積み重ねていきます。

● 聴覚障害者福祉講座(予告) ●

手話サークルの育成を通して地域の力を高めることを目的とした聴覚障害者福祉講座。今年度初となる福祉講座は、7月8日(日)13:45～16:30<13:30受付開始>、川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)大会議室にて行います。

講師は、聴覚障害を持つ埼玉県戸田市議会議員 佐藤太信氏。「聴覚障害を持つ議員の活動について～聴覚障害を持つ議員に対する情報保障について～」というテーマでご講演いただきます。

ご講演後は、聴覚障害者が政治活動に参加するうえで様々な制約を取り除くために、区ろう協・手話サークルがどのような取り組みができるのかグループディスカッションを行います。

今年度は、年4回の聴覚障害者福祉講座を予定しております。いずれも手話通訳・要約筆記あり、申し込みは不要です。手話を学んでいる方だけではなく、地域の方々もお誘い合わせのうえご参加ください。お待ちしております。

【今後の予定】

- ・10月14日(日)午後 てくのかわさきホール テーマ未定
- ・11月 4日(日)午後 川崎市立聾学校体育館
「川崎市総合防災訓練の参加報告、聴覚障害者災害訓練の報告」(仮)
- ・2月 3日(日)午後 会場未定
「小中学校の子どもたちに、聴覚障害理解を広めるための授業について考えよう」(仮)

● 補聴器とコミュニケーションの講座(予告) ●

7月～8月にかけて高津区で4回、10月～11月にかけて多摩区で3回の補聴器とコミュニケーションの講座を開催します。

当センターだけで開催していた講座をより多くの方に参加してもらうために当センター以外で開催するようになって4区、5区めになります。(これまでに

幸区、川崎区、麻生区で開催済)

高津区では定員60名。多摩区は定員30名です。今年度からチラシをカラーにしています。見やすく人目を引くのではないのでしょうか。是非多くの方に参加していただきたいと思います。

詳しくはホームページ・チラシをご覧ください。

【今後の予定】

<高津区> 7月19日、26日、8月2日、9日
毎週木曜日 13:30～15:30
会場：高津老人福祉・地域交流センター

<多摩区> 10月18日、25日、11月1日
毎週木曜日 13:30～15:30
会場：福祉/ピルたま

● 聴覚障害者災害訓練（予告） ●

9月9日（日）に、市内7カ所で聴覚障害者災害訓練を行います。この訓練の主たる目的は、「顔つなぎ」です。個人情報保護により、支援して欲しい人と支援できる人とが「つながる」ことが大変難しくなっております。「近くに住んでいる聴覚障害者を支援したいと思っているが、どこに誰がいるかわからない」というお声もある一方、「聞こえないから近所付き合いが難しい」という聴覚障害当事者の声もあります。

ぜひ、本訓練にご参加いただき、直接顔を合わせ、お互いを知っていただけたらと思います。初めての方、毎年参加している方も、ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。場所や時間は決まり次第、当センターホームページに掲載いたします。

● 手話奉仕員・手話通訳者養成講座スタート ●

5月から手話奉仕員養成講座〈入門編〉を川崎区と多摩区で開講しています。受講生の皆さんにはろう者の言語である手話の奥深さ、そしてろう者の世界に触れていただければと思います。

また、手話通訳者養成講座〈通訳Ⅱ〉は5月から受講生19名で開講、手話通訳者養成講座〈通訳Ⅰ〉は6月から受講生15名で開講しています。7月からは手話奉仕員養成講座〈基礎編〉を麻生区と中原区で開講予定です。受講生の皆さんには、講座受講に合わせて手話サークルやろう協行事への参加等、是非多くの場へご参加いただけるのを楽しみにしています。

● 手話通訳者現任研修報告 ●

5月25日（金）、今年度最初の手話通訳者現任研修を行い、平成29年度の派遣実績や、派遣事務におけるメール活用開始などの新しい取り組みについてお話ししました。

昨年度取り組んだ内容のうち、特に実技面談については、ぜひ今年度も実施してほしいという声をいただきました。また、メール活用や本部派遣などの新しい取り組みについては、始まったばかりということもあり、さまざまな意見や質問をいただきました。年度の始めに、当センターの今後の動きや活動目標について知っていただき、また皆さんが日ごろ感じられている疑問点なども共有することができる場になったと思います。メールの返信方法など、これまであいまいだった点についても、皆さんとあらためて確認することができました。

今後もよりよい手話通訳派遣のために、皆さんと一緒にひとつひとつ、検討・改善を進めていきたいと思っています。今年度もよろしく願いいたします。

● センター運営委員会 ●

5月31日（木）18:30よりセンター運営委員会を開催しました。委員の任期が新しくなり、5名の委員の交代がありました。この日は平成29年度の事業報告、決算報告が事務局の当センターよりあり、その後質疑応答でした。予算執行について、相談事業について、災害対策について、市内の警察への研修について、様々なご意見をいただきました。ろう学校の学生も地域の災害訓練に出たらどうか、など具体的な提案もありました。

手話通訳者の個人実技面談については、通訳者として日頃抱えている課題を、コーディネーターと一緒に話し合うことが出来て有意義な取り組みであるというご意見も出て、職員のやりがいにもつながったと思います。

退任された委員の方、これまでありがとうございました。今後とも当センターへのご協力をお願いいたします。

● 要約筆記者養成講座開講 ●

今年度も手書き・パソコンコースの講座が始まりました。チラシをカラーにして、ポスターも各所に掲示したためか例年を超える応募がありました。

そして5月11日（金）に説明・選考会を行い、手書き12名、パソコン8名の受講が決まりました。

講師は特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録要約筆記者協会の方々です。講座の初めは2コース合同の座学が続きます。6月に入ると、それぞれのコースに分かれての講座になります。来年1月末までの講座。長丁場ですが乗り切って統一試験を通して、来年度は聴覚障害者福祉の仲間として一緒に活動してほしいものです。

● 要約筆記者 現任研修報告 ●

5月11日（金）、川崎市登録要約筆記者協会担当の要約筆記者現任研修が行われ、川崎市障害福祉課から砂川課長・秋保係長、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会から伊藤實理事長をはじめ4名、当センターから4名の職員が出席しました。テーマは「新年度の課題と展望（新人紹介）」。まずは新登録者7名へ川崎市障害福祉課より登録者証と川崎市要約筆記者認定証が授与され、続いて新登録者の自己紹介が行われました。続いて当センターからの説明、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会の活動報告、川崎市への要望の回答と今後の課題、意見交換という順で進行されました。

新登録の皆様の緊張感が伝わってきたことと、意見交換で活発な意見が交わされたのが印象的でした。平成30年度の要約筆記者派遣事業を支えてくださる皆さまと共に当センターも身の引き締まる思いをした研修となりました。

ビデオ通信 66

●センターよりお知らせ



貸出ベスト5

(平成30年4月1日から平成30年6月30日現在)

順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	100本
2位	手話学習	18本
3位	映画・ドラマ	6本
3位	CS放送	6本
5位	手話	4本

※前回号に掲載した貸出ベスト5の期間について誤りがありました。申し訳ございません。

【誤】(平成30年1月1日から平成30年4月30日現在)

【正】(平成30年1月1日から平成30年3月31日現在)

●データ紹介

	4月	5月	6月	合計
来所者数	1,045	2,014	1,511	4,570
ビデオ貸出数	52 (40)	30 (17)	55 (43)	137 (100)

※ビデオ貸出数の下の()内の数は、センター制作分の貸出数です。

●ホームページに掲載したい手話及び要約筆記の勉強会や講習会の情報がありましたら、ご一報ください。

ホームページのアドレス <http://www.joubun.net/>

☆積極的な情報提供、お待ちしております☆

●ロビーのテレビに、聴覚障害者用情報受信装置「アイ・ドラゴン4」を設置いたしました。IPTV(インターネット・プロトコル・テレビジョン)「目で聴くテレビ」として進化し、手話通訳や字幕の位置を変えたり、以前の番組のアーカイブをいつでも見ることができるようなど、操作性が向上しています。

※詳しくは認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構のホームページをご覧ください。 <http://medekiku.jp/>

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。



川崎市聴覚障害者情報文化センター

代表 (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805

〒211-0037 川崎市中区井田三舞町14-16

(交通機関 / 東急東横線 元住吉駅下車徒歩 10 分)

(部屋の貸出等管理) (T) 044-798-8800 (F) 044-798-8805

(ろっあ者相談・難聴者相談) (T) 044-798-8802 (F) 044-798-8804

(手話通訳・要約筆記派遣) (T) 044-798-8801 (F) 044-798-8803

ホームページ <http://www.joubun.net/>

ツイッター <https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック <https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>

ツイッター 時々つぶやいています☆

<https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。
月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(■ 休館日)

平成30年7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

平成30年8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
27	27	28	29	30	31	

平成30年9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

平成30年10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

【編集後記】

給食と言えば、牛乳、コッパンなどが並んでいたので記憶に残っています。私の故郷では牛乳瓶になっていましたが、他の地域は紙パックもしくは三角パックなど地域差が表れていて、話を聞くだけでも面白いです。ところが神奈川県では給食が実施されていないところが多いと聞き、驚きました。ですが、嬉しいことに川崎市は昨年完全給食実施となったそうです。今、共働き世帯も増えているので、かなり助かると思います。一度どんな味か試しに食べてみたいですね。(O.S)